

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



入園進級おめでとう



青倉保育園

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼

主な
内容

第1回定例会	2~4
一般質問	5~6
委員会報告	6~9
広域圏NEWS	9
町民の声	10

平成27年度は一般会計予算 48億9,300万円スタート

平成27年度の主な事業

出産祝い金（出産1人につき5万円を支給）	125万円
定住促進住宅用地整備工事	650万円
定住促進奨励金事業（新築住宅取得者へ25万円一括交付）	200万円
ふるさと納税促進事業	183万円
高齢者支援費（高齢者の地域における交流及び健康維持を図るための事業）	923万円
地域支援事業（配食サービス）及び家族介護慰労金支給	242万円
健康増進事業（各種健診と保健指導の実施、感染症予防接種、定期健康相談等）	5,086万円
有害鳥獣駆除対策	985万円
荒船風穴観光推進事業	1,166万円
地域おこし協力隊事業（都市部から移住し、地域ブランドや地場産業の開発、PR等で地域おこしの支援を行なう協力隊員を活用する事業）	943万円
ジオパーク施設の整備及び電車ラッピング	1,875万円
学校・家庭・地域連携協力推進事業	177万円
文化財調査保護費（荒船風穴保存管理及び調査、保存活用計画の策定）	3,335万円
学校共同調理場新設のための基本設計、造成工事	4,059万円

（万円未満切り捨て）



定住促進住宅用地（宮畑分譲地）

第1回定例会

平成27年第1回定例会は、3月9日から18日までの会期で開催されました。

今回の定例会は、平成27年度新年度予算をはじめ、報告1件、人事案件、条例改正案など議案40件と陳情1件が上程されました。

人事案件



副町長
吉弘 拓生氏

任期は
4年です。

◆下仁田町副町長の選任

空席となっていた副町長に福岡県うきは市職員で総務省地域力創造アドバイザーの吉弘拓生氏を選任したいとするもので賛成多数で同意されました。



市川 敏雄氏

任期は3
年です。

◆下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任

小金澤重男氏が死去したため、市川敏雄氏（下仁田）を任命することが全会一致で同意されました。

3 月定例会審議結果

議 案 名	結 果
下仁田町副町長の選任について	賛成多数
下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致
群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	全会一致
下仁田町行政手続条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町特別会計条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町税条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町荒船風穴蚕種貯蔵所跡の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例	全会一致
下仁田町ふるさとセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町保育の実施に関する条例の全部を改正する条例	全会一致
下仁田町介護保険条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町浄化槽整備事業の分担金の特例に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町水道事業及びガス事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	全会一致
下仁田町教育資料館条例	全会一致
下仁田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	全会一致
下仁田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	全会一致
下仁田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	全会一致
下仁田町土砂等による埋立て等の規制に関する条例	全会一致
下仁田町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例	全会一致
下仁田町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	全会一致
下仁田町簡易水道等事業条例等を廃止する条例	全会一致
平成26年度下仁田町一般会計補正予算（第5号）	全会一致
平成26年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致
平成26年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全会一致
平成26年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第2号）	全会一致
平成26年度下仁田町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致
平成26年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致
平成26年度下仁田町水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致
平成26年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第2号）	全会一致
平成27年度下仁田町一般会計予算	賛成多数
平成27年度下仁田町国民健康保険特別会計予算	全会一致
平成27年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算	全会一致
平成27年度下仁田町介護保険特別会計予算	全会一致
平成27年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算	全会一致
平成27年度下仁田町水道事業会計予算	全会一致
平成27年度下仁田町ガス事業会計予算	全会一致

平成27年度

特別会計（4事業）予算28億520万円

- 国民健康保険特別会計…………… 12億7,290万円
- 後期高齢者医療特別会計…………… 1億4,120万円
- 介護保険特別会計…………… 13億1,410万円
- 浄化槽整備事業特別会計…………… 7,700万円

平成27年度

特別会計予算及び公営企業会計予算

国民健康保険事業

歳入では73・1%が国・県・支払基金などの交付金で、被保険者からの負担である保険税が2億1157万円。歳出では、59・4%を占める保険給付費の7億5612万円が主なものです。

後期高齢者医療事業

歳入の主なものは保険料7960万円。繰入金5520万円などです。歳出の主なものは後期高齢者医療広域連合納付金1億3122万円が主なものです。

介護保険事業

歳入では68・1%が国・県・支払基金などの交付金で、保険料2億4266万円、繰入金1億7587万円が主なものです。歳出では、保険給付費の12億6511万円、地域支援事業費の1938万円が主なものです。

浄化槽整備事業

歳入では30・3%が国県などの支出金で2334万円、町債が2060万円。歳出では、浄化槽事業費が6950万円、公債費は699万円が主なものです。

公営企業会計

◎水道事業会計

給水戸数は、簡易水道事業が上水道事業に統合されたことから、前年より1291戸増加し3612戸、年間給水量は94万9603^mで前年度対比42・5%の増です。

水道事業収益は、2億7948万円の前年度対比40%の増、支出では水道事業費用3億185万円、前年度対比42%の増です。

これとは別に老朽管敷設替え工事など4578万円を計上しています。

◎ガス事業会計

供給戸数は、前年より14戸減少し、1324戸、年間供給量は90万8131^mで前年度対比8・5%の増です。

ガス事業収益は、1億7849万円の前年度対比4・7%の増、支出ではガス事業費用1億6422万円、前年度対比2・5%の増です。

これとは別に老朽管敷設替え工事など4943万円を計上しています。



一般質問

町政を問う



岩崎 正春議員

地方創生と定住対策は

議員 議会より提案し、機関決定も見た提言① 東団地②元馬山小学校遺跡調査③元西中学校遺跡調査④空き家対策に関しては、どのように予算化をしたか。

企画財政課長 東団地は、公社所有の土地であります。これまで宅地化されなかった経緯について、支障となった原因の解消がなければ町が購入し宅地化が進まないところであります。旧馬山小学校跡地と旧西中学校についての埋蔵文化財調査については、新年度予算案に旧西中学校分の調査費用を計上させていた

いております。調査の状況により、費用面、埋蔵文化財調査員の人的要素が確保できれば、旧馬山小学校の試掘についても実施の方向で検討したいと考えております。

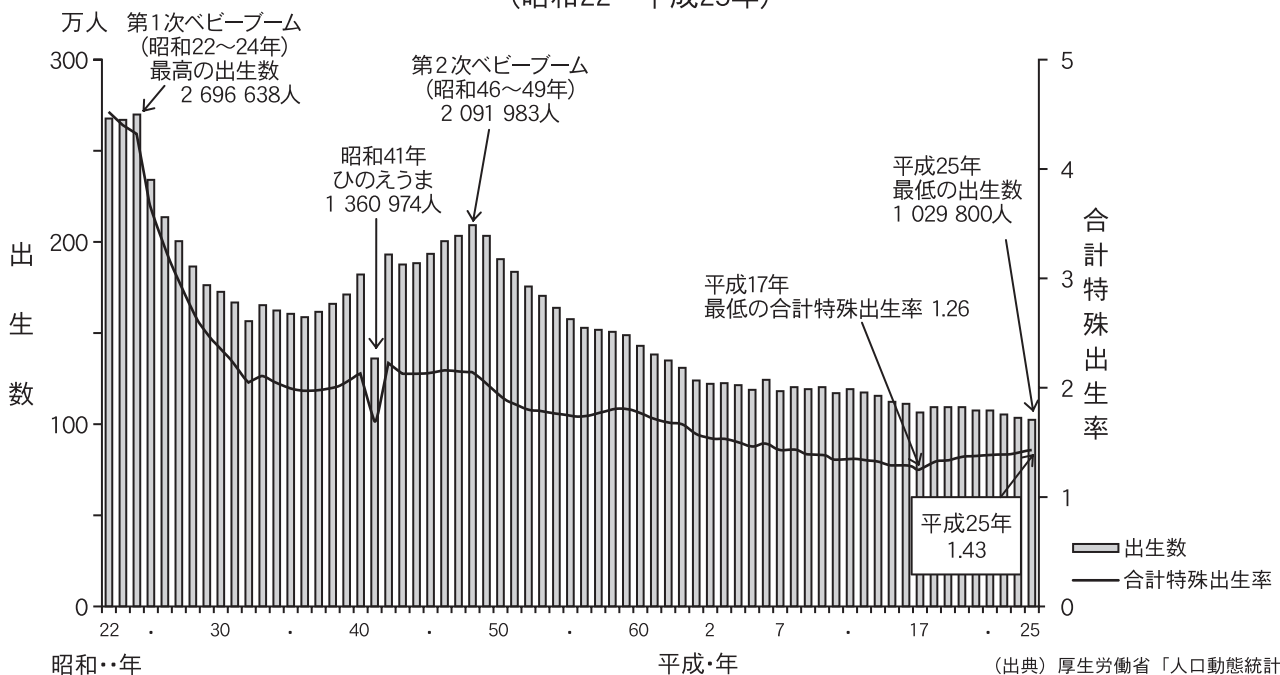
議員 地方創生事業を実施するにあたり、先行

空家対策については、3月補正予算において、国の先行型事業に割り当て、26年度事業として町内の空き家状況を調査することとしておりますので、その結果に基づき、来年度に策定する地方版総合戦略の計画の中に具体的なプランを掲げていく予定です。

1. 日本の出生数・出生率推移

- 出生数・出生率は、1970年代半ばから長期的に減少傾向。
- 合計特殊出生率は、人口置換水準（人口規模が維持される水準）の2.07を下回る状態が、1975年以降、約40年間続いている。

出生数及び合計特殊出生率の年次推移
(昭和22～平成25年)



(出典) 厚生労働省「人口動態統計」

型事業はどのような内容をリストとして挙げたのか。

企画財政課長

国の条件を踏まえて、町では7つの事業を3月補正予算に計上させていただきました。①総合戦略策定のための基本調査委託業務②空き家調査委託業務③町PR事業として、町の紹介用カレンダー製作④EBC環境整備事業⑤観光振興事業として外向け観光総合案内書、また町民おもてなし観光ガイドブック、教育旅行誘致用パンフレットの製作⑥ジオパークPR事業として、紹介用VTR制作。ジオレプリカ制作⑦は育児支援事業として、子育て応援教室の開催、とそのため環境整備です。

議員

このたびの地方再生「まち・ひと・しごと創生」長期ビジョンと総合戦略5か年計画の概要は。

企画財政課長

市町村がそれぞれ総合戦略を策

定するよう規定されています。国の戦略内容は、「地方における安定した雇用の創出」「地方への新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚、出生、子育ての希望をかなえる」「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守ると共に、地域と地域を連携する」とする4つの基本政策を掲げています。

議員

今年には選挙の多い年だが、高齢化した社会での投票所の改善は、期日前投票を役場以外に設置や移動式にしてはどうか。

企画財政課長

何十年も変更のない、15カ所の投票所数、110カ所のポスター掲示場の見直し、巡回小型バス運行による期日前投票等の可能性等、選挙管理委員会と協議し、利用しやすく、できるだけ多くの有権者に投票していただけるような対応を検討したい。

議員

中央通りの活用に

ついて。

企画財政課長

現状では、中央通りに面した空き家は、9件と把握しており。現状把握調査により、町内全般の空き家対策を進める中で中央通りもその特徴を生かせるような形で計画に入れることができるよう検討したいと考えております。

委員会報告

社会経済常任委員会

本会議において付託された

陳情1件を審査しました。

◆陳情第1号 年金引下げの流れを止めること

国に求める陳情 年金は物価にスライ ドした制度であり、現役世代の負担を考慮しなければならぬ等の意見があり、継続審査とした。

予算決算特別委員会

◆平成26年度

下仁田町一般会計補正予算

歳入▼▼▼

教育使用料の施設の利用状況は。

答

屋外運動場照明施設使用料は2万5000円の減額です。

社会体育施設使用料については一般利用と

認定団体を併せて7万1000円の増額です。

サンスポーツランド

は8万3000円の減額です。

ふるさとセンター観覧料については、有料

問

入館者数の増加見込みによる増額補正です。国庫補助金の地域住民生活等緊急支援のための交付金とはなにか。

答

地方創生先行型事業のうち、総務費関連事業で地方創生法の成立による国の補正予算に対応した町の事業を補正予算に計上したものです。

問

一般管理費の情報ネットワーク維持管理費の内容はなにか。

答

公衆無線LAN(Wi-Fi)を利用した観光案内システムの導入を計画した。公衆無線LAN整備を、下仁田駅、道の駅、荒船の湯、ふるさとセンター、自然史館に設置し、観光客の持つているスマートフォンやタブレット端末を使っ



て、観光地案内を配信します。コンテンツは、日本語の他、英語、中国語、韓国語、フランス語で表示し、外国人観光客にも対応する予定です。

問 庁舎等管理費の財源更生について減額内容は。

答 国庫補助金122万6000円の減額は、工事監理費に係る補助金の減額、その他財源980万円の減額は起債の減額です。

問 鳥獣被害防止緊急捕獲対策交付金で108万円増額の根拠は。

答 当初はイノシシ・シカで140頭分を計上しました。年度末の実績ではイノシシ70頭・シカ205頭の計275頭を想定しています。増額は275頭と140頭の差135頭分の捕獲料となりま

問 プレミアム商品券について、額は変わらな

答 来週申請予定、予算計上してある額で申請します。

問 地域住民生活緊急支援の交付金は、商工費補助金に入っているが、観光、ジオパークで活用することは問題ないか。

答 国等に確認し問題はないと回答をもらっています。

問 ふるさとセンター費の工事の減額について。

答 荒船風穴駐車場の計画変更によるもので

◆平成27年度 下仁田町一般会計予算について

歳入▼▼▼
問 社会保障・番号制度システム整備費補助金

の内容と制度について伺いたい。

答 システム改修に係る補助金で、平成26年度から平成28年度まで3年間実施する事業です。本予算には、平成27年度分の補助金額を計上しています。社会保障・税番号制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、脱税や不正給付などを防止し本当に困っている方にきめ細かな支援を

カードの交付を受けられ

問 ふるさと下仁田応援寄付金の予定額積算根拠は。

答 1万円の寄付150件、2万円の寄付100件と見込み350万円としました。

問 ふるさと応援寄付金は、歳出の財政管理費で積み立てるのか。

答 350万円のうち、320万円はふるさと下仁田応援基金に積み立て、30万円は、荒船風穴基金に積み立てる予定です。

問 ふるさと下仁田応援基金からの繰入の原資はあるのか。

答 現在、ふるさと下仁田応援基金の残高が、1100万円以上あり、繰入金の原資はここからの充当となります。

歳出▼▼▼
問 総務管理費に絡み、先日総務課長より平成27年度人件費の総額を聞いた。その数値と、

町HPに公表されている人件費の数値に差がある。公表数値には含まれていない部分もあると思われるが、同じになるように出来ないか。

答 町HPの数値は、総務省より指示された内容で公表しているものであり、数値を変えることはできない。別に予算ベースでの数値公表も可能ではあるが、HP上に2つの数値があることは好ましくないので、了解をいただきたい。

問 職員給の基準はどうか。

答 人事院勧告の数値に基づいています。

問 近隣と比べて住民一人当たりの人件費が高い様に思われるが、どうか。

答 初任給等の格付けは、高卒、大卒等の違いはあるが、基本的に同じです。下仁田町でも人口減が進んでおり、職員数の削減も進んでいるが、人口減が

そのまま事務量の減となる状況ではなく、人口減に見合うだけの職員数減とはならない。このため、甘楽町等と比較し、住民一人当たりの人件費が高くなると思われ

問 新規採用者の人数は。

答 採用者2名を予定しています。

問 乗合バス運行事業にバス停の修繕料があるか。

答 危険箇所があれば対応するが、景観を配慮する意味での停留所修繕は予算計上していません。

問 企画費の公共交通対策費の内容はどのようなものか。

答 上信電鉄沿線市町村連絡協議会負担金5万円、南牧村乗り合いバス運行費負担金80万円、上信電鉄補助が固定資産税補助、輸送対策事業費補助及び鉄道基盤整備維持費補助金1536万5000円です。



かるがも広場

問 乳幼児対策の内容は。

答 乳幼児親子対象の事業を増やす計画です。健康教室のリニューアル、月1回「かるがも広場」を会場にしたイベント、健診の待ち時間を利用した遊戯指導などの事業です。また、「かるがも広場」に設置する備品（柵や木のおもちゃなど）の購入費です。

問 「かるがも広場」の利用状況は。

答 月曜から土曜の週6日解放して、週半分くらいの利用、1日平均になると3人弱です。

問 3月補正で自殺対策の予算が減っているが、27年度は予算計上しているか。

答 県の予算が確定してから補助金の連絡が来るので、27年度は計上していない。下仁田町は、自殺対策強化基金事業が始まる前から「精神保健相談」を実施しており、「健康増進」に計上しています。

問 「精神保健相談」は高齢者も利用があるのでしょうか。

答 高齢者も利用があるのですが、高齢者支援係でも予算計上しています。

問 ここ5年の自殺者数が分かるか。

答 平成21年は6人、22年は4人、23年は2人、24年は3人、25年は1人、26年はまだ把握していません。

問 補助金あるなしに係わらず、自殺予防事業を推進してほしい。

問 不妊治療費は計上しているか。25年度の実績は。

答 乳幼児対策に10万円を2人分で20万円計上しています。25年度は

3件申請がありました。

問 予防費の感染症予防について内容を教えてください。

答 主として子どもの予防接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、高齢者のインフルエンザ予防接種病院委託料です。

問 高齢者の肺炎球菌はどのような対応でどのくらいの実績と予定があるか。

答 昨年10月から定期接種化となり、65歳以上5歳刻みの方が対象となっています。助成額は、接種料金7000円のうち5000円で、また、任意接種も助成額は同額で対応し、26年度は本日現在で195名の実績があります。

問 下仁田は他の市町村と比べて助成額は多いと聴いたが、わかれば他市町村の状況を教えてください。

答 甘楽町、富岡市、南牧村は3500円の助

成額です。

問 同じに、インフルエンザは負担金2000円かと思うが予定と実績はどうか。

答 インフルエンザについては助成額が2800円、自己負担額は1000円となっている。27年度は2394人計上で、今年度の実績人数はおよそ2000人です。

問 県単林道改良事業は稲倉高倉線だと思いが、毎年やってどの位の距離を何年かけてやるのか。

答 平成23年度から工事しています。とりあえず人家のあるところまでの約2000mを計画しているが、平成26年度までで約1400m済んでいるので、順調に行つてあと2年で完了する予定です。

問 有害鳥獣駆除対策の内訳は。

答 主だったものは猿追いの賃金440万円、花火30万円、保険料11万円、猟友会委託料1

45万円です。

問 小規模農村整備事業で丸畑の道路工事をするとあるが、道路の延長・幅員・受益面積は。

答 幅は4m、延長は220m、受益面積は2.3ha。

問 受益は道路の下側だけか。

答 バイパス側も入れてあります。

問 ぐんま緑の県民基金事業について説明を。

答 追加募集があるので、4月の区長会議や森林組合関係者等にも場所の選定をしてもらう予定。平成26年度に事業をした箇所も管理協定を結ぶ作業を行います。

問 鳥獣被害防止緊急捕獲対策交付金でズレがあると思うが。

答 1頭8000円の250頭分で計上してありますが、来年度の早い時期に基準を決めて1万円ということを考えています。

問 地域おこし協力隊の説明をお願いしたい。

答 地域の活性化のために今回は観光の面から活用したいと考え、観光推進のために1名、ジオパーク推進も観光の一部と捕まえ、ジオパーク推進のために1名採用することとしています。

問 今後増やしていく予定はあるのか。

答 今回2名採用し今後活用していった中で、今後の実績如何によってはその必要性を見出し検討していきます。

問 教育振興費A.L.Tは年間何日くらい学校で指導しているのか。

答 中学校123日間のほか、小学校に56日間、保育園に10日間行つていません。

問 生涯学習費の学校・家庭・地域連携協力推進事業の放課後子ども教室について内容と学童クラブとの違いは。

答 放課後子ども教室は子供たちが安心して活動できる場を提供する事業です。低学年が平日の火曜日から金曜日

まで午後4時20分まで実施し、高学年の下校にあわせて終了します。小学校の余裕教室を利用して学習や遊びを行い、夏休みは自然体験学習など考えています。また学童クラブは保護者が仕事等で昼間家庭にいないお子さんをお預かりする事業で、放課後子ども教室が終了後に学童クラブへ行く子ども達もいると思います。教室の参加者について

では、これから参加申込を提出して貰う予定です。文化財調査保護費の中に荒船2号風穴の石積復旧工事の予算が計上されているか。

答 埋蔵文化財調査をはじめ、調査事業が主な



給食センター予定地

もので2号風穴石積復旧工事は計上しておりません。今後の整備計画については平成27年度に作成予定の整備計画に則って整備を進めていきたいと考えています。

問 学校給食調理場の建設について予算化はどの程度までしているか。
答 基本実施設計業務、地質調査業務、造成工事について予算化しています。

広域圏NEWS

富岡甘楽

広域議会定例会

広域議会は、2月26日午前10時から富岡市役所で開催された。

◆平成26年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合補正予算（第2号）

◆平成27年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合予算

を含め議案8件が上程され、全て原案どおり全会一致で可決された。

病院議会（定例会）

3月2日 開会
予算案件 3月24日

◆平成26年度下仁田南牧医療事務組合病院事業会計補正予算（第1号）

全会一致で可決

◆平成27年度下仁田南牧医療事務組合病院事業会計予算

全会一致で可決

環境議会（定例会）

甘楽西部環境衛生施設組合議会定例会が、3月2日と3日に開催された。

◆平成26年度補正予算

全会一致で可決

149万円を減額し総額4億3172万円とする。

◆平成27年度新年度予算

全会一致で可決

3億9302万円前年対比8.4%の減額、主なものは、クリーンセンター施設点検整備委託等。

議員在職15年以上

3氏が自治功勞表彰

群馬県町村議会議長会が2月18日に開催され、その席上、島崎紘一議員、千野榮治議員、佐藤勇二議員の3氏が議員在職15年以上の自治功勞者として議長会長から表彰を受けました。



佐藤勇二議員

千野榮治議員

島崎紘一議員

町民の声

下仁田まちづくり委員会

委員長 堀越 健介さん



行っぺんべー祭

下仁田まちづくり委員会は、平成21年に活動を開始し「観光振興をテーマとしたまちづくり」を主題として、下仁田町に現存する地域資源を有効に使い、町の活性化策に向けて何をすべきなのか、ということに着目し取り組みを進めてきました。

まちづくりの最大のポイントとは、住民意識の改革であり、町民が自らの地域に自信と誇りをもって住むことができることが、まちづくりであると考え提言書を策定し、町に提出しました。提言書に基づいたまち

づくり案を実施する活動として、平成22年より下仁田町にしかない物や話題性のあるものを取り混ぜ、町外からの来訪者がまちなかを散策し楽しめるイベント「下仁田へ行っぺんべー祭」を実施しています。昨年も第5回目を中央通りで開催しました。

実施して感じることは、下仁田町の再開発されずに残った景観こそが、他の地域にはない貴重な財産であり、時間が止まってしまったような町だからこそ、現代人の目には新鮮に映り、埋もれかけた見どころを活用してストーリー性をもたせれば、この町は十分人を呼べると感じました。イベントはあくまでも一つのきっかけであり手段であります。イベントを開催することにより、住民が自分の町の良さを再認識し「自分たちの町は自分たちでまちづくりを

する」という住民の意識改革に繋がればと考えています。

これからも、下仁田町が活気に溢れるよう、また住民が自らの地域に自信をもって住んで良かったと誇りを持てるよう、今後ともまちづくり委員会の活動に取り組んでいきたいと思えます。



編集室から

議会だより第69号をお届けします。

本号は、平成27年3月定例会について編集しました。

皆様方に出るだけ見やすく、読んでいただける紙面作りを心掛けておりますが、お気

議会だより・会議録をホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

次の定例会は6月の予定です。
議会傍聴をお待ちしています。
日程などのお問い合わせは

☎64-8810



づきの点やご意見、ご要望がありましたら、広報発行特別委員会までお知らせください。

広報発行特別委員会
委員長 永井正之
副委員長 千野榮治
委員 原 秀男
岩崎正春
高瀬政信
佐藤勇二